

B Jカーズスーパーは パープルリボンキャンペーンを 応援しています



女性への暴力根絶を願い紫色に
ライトアップされたアスパム

ったほか、青森市の県観光物産館「アスパム」が運動のシンボルカラーである紫色にライトアップされた。運動は25日まで。

運動は内閣府などが提唱し、毎年11月12～25日に実施。女性への暴力の根絶を目指す取り組みが「パープルリボン」として国際的に広まっていることにちなみ、紫色をイメージカラーにしている。

青森市の市役所駅前庁舎前では、NPO法人・あおり男女共同参画をすすめる会など関係団体のメンバーが啓発活動を行った。青森市の自動車販売業「BJカーズスーパー」の協力で作成したパープルリボン型のピンバッジを市民らに配り、女性への暴力根絶を呼び掛けた。

同会の千田晶子理事長は「パープルリボンは運動のシンボル。男性にもバッジを着けてもらい『暴力は良くない』という意思表示につながれば、みんなが幸せになれる」と取り組みの意義を語った。

アスパムのライトアップは、県男女共同参画センターが2012年度から毎年実施。25日までの期間中、午後5時から9時まで紫色に染まる。ライトアップは弘前市役所前川本館でも行われ、全国計150カ所でも実施予定だといふ。

(安達一将)

配偶者等からの暴力、性犯罪、ストーカー行為、売買春、人身取引やセクシャルハラスメント等

女性に対する暴力は、女性の人権をがいするものであり、決して許されない行為です。